

『ありがとう』というお客様の言葉から、
プラスαの提案ができたことを実感。

夢中になることを
見つけよう!!



水野 幹さん(1995年生まれ)

愛知県立杏和高校 出身
名城大学 法学部卒業

株式会社ワイテック

知立市西町宮腰14
http://www.vtec2109.co.jp

なるためには

- 必要資格/特になし
- 主な進路/高校卒業→大学に進学→プラスαファスナーを
開発・製造する企業に就職→営業

— 学生時代

「野球部に所属していて、平日も休日も練習と試合で高校生活は部活三昧でした。明確にやりたいことが見つかっていなかったのですが、大学に進学して目標を見つけようという思いが当時は強かったです。卒業後は名城大学に進学しました」

大学時代について教えてください。

「印象に残っているのは、陸前高田市の復興支援活動に参加したこと。愛知からの参加者は僕くらいで、あとは関東の大学生が中心でした。狭いコミュニティから飛び出していろんな考えの人たちと出会い、視野が広がったと思います。地域の方々と交流を通して人のやさしさにもふれることができましたし、学生時代にしかできないとても貴重な経験になりました」

— 仕事について

「大学卒業後、プラスチックファスナーを開発・製造するワイテックに就職しました。分野は絞らずに営業職を軸に就職活動をおこなったのですが、説明会や面接でのアットホームな雰囲気に惹かれたことがワイテックを志望した決め手です」

入社当初のことを教えてください。

「入社後、工場研修を3週間経験し、製造現場で働きました。現場がどんな仕事をしているのか、その作業内容や工程を理解していないと、お客様(自動車メーカー)にいい提案はできませんからね。お客様だけでなく、製造現場や協力工場、仕入先など、いろんな人たちの思いを汲んで



仕事をスムーズに進めることが営業には求められます」

仕事内容を簡単に教えてください。

「お客様が求めているモノに、『こうしたらもっとよくなる』というアイデアをプラスαして自分ならではの提案をすること。それが営業の仕事だと思っています。自動車の開発段階などの情報をいち早くキャッチしてアポをとり、お客様のところへ伺います。そこで困っていることをヒアリングし、社内の技術部署と打ち合わせをしてお客様が求めているモノを図面にしていきます。仕事のスピードや高品質なモノづくりを通して、お客様とのよりよい関係を築いていきたいです」

— やりがい

「お客様からの『ありがとう』という感謝の言葉。それがやりがいです。プラスαの提案ができたことを実感できます。あとは、お客様が提示した納期より早く納品をしたり、『調べてほしい』と言われたことをすぐに調べて返信をしたりして、対応のスピードを褒められることもうれしいです」

— なるためには

「営業には、相手によるこんでもらいたい」という気持ちが大事だと思います。その気持ちさえあれば、コミュニケーションが下手だったとしても問題ありません。営業のスタイルは様々なので、攻めの姿勢の人かもしれないと自分自身で決めつけるのはもったいないですよ。高校時代は、何かひとつ夢中になれるものを見つけてほしいです。そして、『これを頑張った!』と誇れるものを見つけてください。その経験は、社会に出てからもきつと役立つはずですよ」

ありがとうございます。



18歳

↓

22歳

↓

25歳

部活三昧の高校生活。卒業後、名城大学に進学。

陸前高田市の復興支援活動に参加し、視野を広げる。大学卒業後、ワイテックに就職。

スピード対応、プラスαの提案を心がけ、日々の仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



患者さんにとって、一番身近で健康相談できる存在が目標です。



今を大切に!!

加藤 志織さん(1994年生まれ)

愛知県立五条高校 出身
金城学院大学 薬学部卒業

株式会社スギヤマ薬品

名古屋市千種区内山2-13
https://sugiyama-club.jp

なるためには

- 必要資格 / 薬剤師
- 主な進路 / 高校卒業→大学(6年制薬学部)を修了→薬剤師国家試験に合格→薬剤師→ドラッグストアや薬局、病院などに就職

——学生時代

「幼いころに薬のアレルギーで発疹が出てしまったことがきっかけで薬学に興味を持ちました。数学や理科などの理系科目が得意だったこともあり、薬剤師を志すようになったことになりました。また部活動では中学、高校と吹奏楽部でクラリネットを担当し、コンクールや大会に向けて練習に打ち込んだ思い出があります」

大学時代に学んだことは？

「金城学院大学の薬学部で、薬理学や病理病態学など、薬剤師になるために必要な専門科目を履修。ラットやウサギに実際に薬を投与し、反応を見る実験も行いました。5年次は実務実習が中心に。病院や薬局での実習では患者さんに加え、ドクターや看護師との関わりも学びました」

——仕事について

「実習を通して、病気で治療中の患者さんに留まらず、お客さんも含めて長期に渡って関わることができるドラッグストアの業務に魅力を感じて就職先を決めました」

仕事内容を教えてください。

「ドラッグストアで処方箋を持参される患者さんに対して、安心してお薬を服用していただくためにお薬の説明や指導などを行っています。市販薬に関する相談にも対応するほか、高齢者施設やご家庭を訪問して指導を行うこともあります」

働き始めて大変だったことは？

「入社後は本部で2ヶ月の研修があり、模擬薬局でお薬の準備や説明の仕方を実践しながら学習。店舗へ配属されてから、最初はひっきりなしに患者さんが訪れるスピード感到に圧倒されました。迅速かつ正確に仕事を進めるのに、慣れるまでは苦労しました」

あなたにとって薬とは？

「薬は、患者さんが長く健康に過ごすために欠かせないものであると同時に、誤った使い方をすると毒になることもあります。命に関わるものを扱っているという責任感を胸に、薬のプロとして適切なサポートを行うのが薬剤師の役割です」

——やりがい

「患者さんにお薬の説明をすることで安心していただき、不安そうだった方が笑顔になって帰っていただけるとうれしくなります。『実は、病院では言ってなかったけど...』などとお悩みを打ち明けていただけることも多いです。これからも地域の方々にとって一番身近で健康相談できる存在になれるよう頑張ります！」



——なるためには

「薬剤師の国家資格を取得するために、第一歩として大学の薬学部(6年制)への進学を目指しました。薬剤師は患者さんの健康を左右する可能性もある仕事です。そのため、忙しくても冷静に落ち着いて対応できる人に向いていると思います。また薬は日々進化し続けているため、社会に出た後も新薬について学んだり、勉強し続ける姿勢も大切です。薬学部での6年間は非常に忙しいため、高校のうちに部活動や友人との時間を満喫しておくといいですよ！」

ありがとうございました。



自分史

18歳

↓

24歳

↓

27歳

子どものころからあこがれていた薬剤師を目指し、大学の薬学部へ進学。

地元で店舗があり、大学時代にアルバイトしていたドラッグストアに入社。

ドラッグストアで処方箋の受付に加え、訪問薬剤師としても活躍中。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



日々の丁寧なやりとりを通して、
住みよい街づくりに貢献できたら。

継続は
力なり！！

諏訪 光紀さん(1995年生まれ)

愛知県立丹羽高校 出身
名城大学 都市情報学部卒業

小牧市役所

小牧市堀の内3-1
<https://www.city.komaki.aichi.jp>

なるためには

- 必要資格 / 市職員採用試験に合格
- 主な進路 / 高校卒業→4年制大学を卒業→市職員採用試験に合格→市役所職員

——学生時代

「小学校から中学、高校、大学とずっと野球部に所属し、休日ほぼ部活動に打ち込んでいました。厳しい練習を乗り越えて、最終的にいい成績を収められた経験から、継続することの大切さを学ぶことができたと思います。将来の目標は決まっていなくてもいいですが、地元で働きたいと考えていました」

大学時代に学んだことは？

「名城大学の都市情報学部に進学。統計学やプログラミングを用いて街づくり計画に必要なデータを分析したり、都市再生事業について学びました。3年次からは政策立案や事業計画など、街づくりの構想力を養うプランナーコースを選択。現在の区画整理課での仕事に通じる勉強をすることができました。卒論は空き家問題をテーマにしました」

——仕事について

「卒業後は地元で別の法人に就職しましたが、街づくりに関わりたいたいが強くなり、公務員試験に挑戦。晴れて小牧市職員採用試験に合格し、市役所で希望していた部署に配属となりました」

仕事内容を教えてください。

「区画整理課の補償係として、区画整理事業に伴う補償交渉を担当しています。具体的には道路の拡張工事をするうえで、移転や改築が必要となる物件を所有している方々に、補償金を提示してご協力をお願い

するのが仕事です」

大切にしていることは？

「引越しや改築を望まない方々は『代々引き継いできた家を壊したくない』『大切に育ててきた庭園を守りたい』など、お金だけで解決できない思いや事情を抱えていると思います。こちらもご無理をお願いしているためすぐに受け入れて頂くのは難しいかもしれませんが、親身に訪問を重ね、少しでも良い印象を持っていただけでもコミュニケーションを目指しています。たとえば引越しに不安がある方なら一緒に移転先を検討するなど、住まう人の思いを尊重した対応を心がけています」

——やりがい

「現在携わっている区画整理事業は、平成初期に始まった30年計画の一環です。たくさんの方々のご協力を経て、大規模な街づくり計画に関われていることに喜びを感じます。補償係といっても、補償金を渡して終わりではありません。住みよい街づくりの構想にご理解・共感いただけるよう、粘り強く交渉を続けます」



——なるためには

「市役所職員には、私が所属している区画整理課のほかにもさまざまな部署や仕事があります。数年ごとに異動があり、また課によってまったく別の能力が必要になることもあるため、いくつになっても学ぶ姿勢がある人に向いているかもしれません。人当たりがよく、話すのが好きな人は強みになります。学生のうちは勉強だけでなく、遊びも趣味もたくさん興味を持って挑戦してみよう。自分の中に引き出しを多く持てると、将来役立つ武器になりますよ！」

ありがとうございました。



18歳
↓
23歳
↓
25歳

名城大学で都市情報学部に進学し、街づくりや都市計画の基礎を学ぶ。
別の法人に勤めながら公務員試験に挑戦。小牧市採用試験に合格する。
区画整理課補償係として活躍。街づくり計画を通して地元貢献する。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



万が一の事故や病気に対し、
少しでも安心していただける備えを。



浅見 連太郎さん（1995年生まれ）

中部大学春日丘高校 出身
名古屋経済大学 経済学部卒業

生活協同組合コープあいち

名古屋市長区猪高町上社字井堀25-1
http://coopaichi.tcoop.or.jp

なるためには

- 必要資格 / 準中型自動車免許
- 主な進路 / 高校卒業→4年制大学卒業→コープに入協→地域担当（宅配）の経験を積み→共済推進担当

——学生時代

「幼稚園からサッカーを始め、中学、高校とずっとサッカー部でした。高校からは特に、プレーを楽しみただけでなく結果を重視する厳しさも味わいました。ポジションはキーパーだったため、視野の広さや冷静な判断力も身についたと思います。現在も趣味でフットサルを続けています」

大学時代に学んだことは？

「サッカー部の特待で名古屋経済大学へ進学。経済学部で、ミクロ・マクロ経済学などを勉強しました。印象に残っているのは、授業の一環で参加した岩手県のパラリンピア。津波被害に遭った小学校を訪問し、災害の壮絶さを目の当たりにしました。また被災した方々のお手伝いも経験でき、大変貴重な体験となりました」

——仕事について

「就職活動の時に自分を見つめ、将来何がしたいかを考えた時、『人から感謝される職に就きたい』という気持ちが明確に。人との関わりが多く、また大学の近くに事業所があつて身近な存在だった生活協同組合に入協を決めました。生活協同組合とは、出資していただいている組合員の方に、主に宅配商品やサービスを提供する団体です。入協後は研修を経て、まずは一般のご家庭に訪問して、組合員を増やす営業を経験。その後2年間は、地域担当（宅配）として商品をお届けする業務を担当しました」

——なるためには

「地域担当（宅配）として経験を積み、ために必要な準中型自動車免許は、内定後にも取得可能です。共済にしても宅配商品にしても、人が見えることがコープの強みなので、人と話すことが好きな人に向いていると思います。人とコミュニケーションをとるうえで、学校では教えてくれない大切なこともたくさんあります。学生のうちに5教科だけでなく、社会保障の仕組みや税金、保険のことなど一般常識も知っておくといいでしょう。たくさん人と出会い、経験を積んでみてください！」

ありがとうございます。



仕事内容を教えてください。

「コープが提供する保険・補償サービスである共済の営業担当です。組合員の方に、医療保障や生命共済、がん共済といった万が一の時に役立つ共済をご案内し、ご契約していただくのが仕事です」

大切にしていることは？

「共済をご案内する組合員の方は、一般家庭のママさんがほとんど。ご契約までじっくり検討される方も多いので、すぐに共済の話せず、まずは世間話やご家族の話などを伺い、話し相手になるように心がけています。『この人だったら信頼できる』と思っただけでいいことが目標です」

——やりがい

「共済は契約してからがスタートです。ご契約後、ケガをした時に一番にご連絡していただけたら、『次に検討する共済も浅見さんにお願したい』と言ってもらえただけたりと、頼っていただけのことによりやがたい感じます。身近にいるあこがれの上司のような、誰にも頼られ慕われる存在になりたいです」



自分
の
実
績

12歳



22歳



25歳

サッカー部のキーパーに抜擢。サッカーを通して視野の広さを学ぶ。

大学卒業後、人の役に立ちたいという思いから、生活協同組合に入協。

地域担当（宅配）を経て共済担当に。指名されることもあり、やりがいを実感する。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



トラック車検の最終検査員は、
決して失敗の許されない最後の砦。

好きなのは
何事もチャレンジ!

中村 彰宏 さん(1982年生まれ)

愛知県立犬山高校 出身
名鉄自動車専門学校卒業 卒業

愛知日野自動車株式会社

名古屋市中村区神穂町7-1
http://www.aichi-hino.co.jp

なるためには

- 必要資格 / 2級ジーゼル自動車整備士、2級ガソリン自動車整備士、自動車検査員 ※就職後取得可能
- 主な進路 / 高校卒業→自動車専門学校を卒業→自動車整備士国家試験に合格→自動車メーカーに就職→検査員の国家資格を取得

——学生時代

「高校時代はやんちゃでしたな(笑。友だちと一緒に夜遅くまでギターを弾いていました。小さいころからプラモデルなどを組み立てるのが好きだったので、自動車整備士の父からアドバイスをもらいながら、動かないバイクを直したりもしていました。将来のことは具体的に考えていなかったのですが、バイクを触るのが好きでしたし、父と同じ仕事をしてみたいと思ったので高校卒業後は自動車専門学校に進学しました」

——専門学校では何を学びましたか?

「主に車の構造の基礎を学びました。実際にエンジンを分解して測定したり、工具を使って組み立てたりする実技の授業もありました。自動車整備士の国家資格取得が全員の目標だったので試験勉強もしましたし、受験に必要な単位を取得するために体調が悪くても毎日頑張って登校していました。先生たちは優しく授業中もわきあいあいとしていて楽しかったです。卒業後すぐに国家試験を受け、愛知日野自動車に就職しました」

——仕事について

「せっかく資格を取得して仕事をするのならより長く現場に携わりたいと思い、普通乗用車よりも長く現場にいられると聞いたトラック業界を志望。愛知日野自動車を知ったのは、高校の通学路に停まっていたトラックのマークがカッコいい!と思ったのがきっかけでした」

——新人時代のことを教えてください。

「まずはトラックの基礎的な部分を触っていく車検の仕事に携わりました。先輩に教わりながら、徐々にトラックの仕組みも覚えていきました。その後、お客様から依頼される一般修理の仕事にも携わるようになり、スキルアップのために会社のサポートを受けながら検査員の国家資格を取得しました」

——現在の仕事内容を教えてください。

「検査員として車検時の最終検査を担当しています。車が道路運送車両法という国が定める基準に適合しているかどうかを確認する重要な役割です。決して失敗は許されないので、普段からミスなく確実に作業を進めるように心がけています」

——やりがい

「自分が車検を担当したトラックが、一年間事故なく無事に走ることができて、翌年また車検にきてくれたときには、とてもやりがいを感じます。とくに大型車両は、毎年車検があるため、常連のお客様のトラックに再会できるときはうれしいですね」

——なるためには

「高校の自動車科や自動車専門学校を卒業して自動車整備士や自動車検査員になる人が多いですが、会社によっては未経験でもチャンスがあります。整備士に向いているのは、車が好きで手先が器用な人ですね。力仕事なので元気がありあまっている人が良いと思います(笑)。検査員をめざすなら、正義感が強いまじめなタイプが向いています。また、自動車は日々すごい速度で進化しているので、常に学びつづける意欲があるとなお良いですね!」

——お忙しいところ、ありがとうございます。



20歳

自動車専門学校を卒業後、愛知日野自動車に整備士として就職。

22歳

整備士としてのキャリアを積みながら、検査員の国家試験に合格。

38歳

トラック検査員として、一つひとつの作業を堅実にこなす日々。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



お客様の『おいしい!』という笑顔を目の前で見られることが喜びです。

笑顔で楽しく!

黒宮 滉太 さん (1998年生まれ)

愛知県立津島北高校 出身

愛知学院大学 法学部卒業

株式会社サガミホールディングス

名古屋守山区八剣2-118

<https://www.sagami-holdings.co.jp>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→4年制大学卒業→飲食店に就職

— 学生時代 —

「体を動かすのが好きで、子どものころは友達と外で遊ぶことが多かったです。小学校時代はサッカー、中学では野球をしていて、一時はスポーツ選手になりたいとあこがれたことも。今でもスポーツは見るのも好きです。将来の目標は明確ではありませんでしたが、地元で働きたいと考えていたので、県内の大学に進学しました」

大学時代に学んだことは？

「愛知学院大学の法学部で法律全般について勉強しました。印象に残っているのは、実際に起きた刑事事件の判決を題材にした授業です。グループワークでは、冤罪事件の裁判に携わった弁護士の方と電話で話す機会もあり、貴重な経験ができました」

— 仕事について —

「大学時代にコンビニや焼肉店などでアルバイトをするうちに、接客業の楽しさを知りました。現在の会社は合同説明会で人事の方の印象が良く、また選考の一環でサガミのメニューを食べる機会もあったことで、社風とお店の雰囲気に着かれて入社を決めました」

入社して最初に学んだことは？

「コロナ禍だったこともあり、入社後の研修はオンラインで参加。店舗に配属され、仕事を覚えていきました。特に調理場では覚える作業が多く、2年目の現在も勉強中です」

現在の仕事内容は？

「蕎麦・うどんチェーンのサガミで接客と調理、アルバイトへの教育などしています。メニュー数が多いだけに、調理場での仕事は蕎麦打ちや揚げ物、盛り付けなど多岐にわたります。また季節メニューがある時は、どのように商品をおすすめるか、スタッフと一緒に戦略を練るのも仕事です」

蕎麦へのこだわりを教えてください。

「サガミの蕎麦は各店舗で毎日製麺しています。蕎麦は温度や湿度の影響を受けやすいため、その日の天候に応じて水の量やこね具合、ゆで時間などを調整。毎日、打った蕎麦を上司やパートさんが試食し、厳しくジャッジしてもらいます。『上手にできたね』と褒められる日も多くなり、少しずつ自分の成長を実感できています」

— やりがい —

「打った蕎麦をお客様に『おいしい!』と言ってもええたり、目の前で反応を見られると自信になります。コロナ禍で外食の頻度が減っている中、選んでいただける店づくりをできたらと思います」



— なるためには —

「飲食店で働くには、専門的な技術や知識を身につけてからでもいいですが、必ずしも接客や調理などが得意な人でなくても大丈夫。それ以上に、人とコミュニケーションをとることが好きな人に向いていると思います。学生のうちから、人と積極的に関わり、心を開いて話す癖をつけてみてください。社会に出ると分からないことだらけです。何気ない雑談で仲を深め、何でも素直に相談できる習慣をつけると、自分の成長につながりますよ!」

ありがとうございました。



18歳

↓

22歳

↓

23歳

大学に入学し、焼肉店のアルバイトをスタート。接客業の楽しさを知る。

地元の飲食店で働きたいと、蕎麦・うどんチェーンのサガミに入社。

ホール、調理場担当として奮闘中。経験を積み、副店長になるのが目標。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



同じ経験をしているからこそ、
相手により一層真摯に向き合える。



伊東 寛明さん(1986年生まれ)

愛知県立五条高校 出身
名古屋工業大学 工学部卒業

あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター

名古屋市西区新福寺町2丁目1-1
<http://www.aichi-inst.jp/shokuhin>

なるためには

- 必要資格/特になし
- 主な進路/高校卒業→4年制大学の理系学部を卒業→愛知県の公務員採用試験に合格→技術職として勤務

——学生時代

「小学生のころから算数や理科に興味があったので、高校では理系を選択しました。進学校だったため勉強がほぼメインの生活。高校時代の思い出といえば、修学旅行で熱を出し、楽しみにしていた場所に行けなかったことです」

大学時代のことを教えてください。

「応用化学を学ぶために名古屋工業大学工学部に進学。化学という学問の種類の多さ、奥深さに驚いたことを覚えています。4年生からは物理化学の研究室に所属し、界面活性剤の研究に夢中になりました。このときに身につけた、一つの実験データに対してとことんまで考察を重ねて結論を導き出す、物理的思考や実験・研究に対する姿勢は、今でも役に立っています。卒業時には院へ進学が就職かを決めきれず、卒業してから就職活動を開始。公務員の専門学校に通いながら勉強し、愛知県の公務員採用試験を受けました」

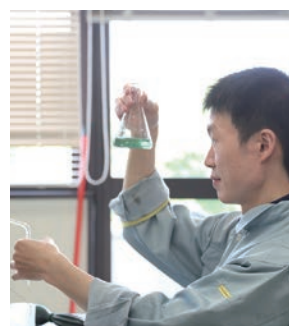
——仕事について

「技術職として、刈谷市にある産業技術センターに配属され、新人時代は専属のトレーナーに教わりながら仕事を覚えしました。入社2年目の職業体験の際、食品工業技術センターで酒造りを体験して以来、いつかはこの分野で働きたいと思いながら、有機高分子のプラスチック担当として3年、尾張繊維技術センターで6年働き、念願の食品工業技術センターに異動となりました」

——なるためには

「研究職なので理系の勉強はもちろんのこと、考える力や、調べる力が必要な職業です。疑問が出てきたらすぐに調べる癖をつけましょう。1日に一個でも構いませんから、好きな分野の専門家になるくらいの気持ちで、調べて知識を集める体質を身につけておけば、必ず将来の役に立つはずです。そして、もし私と同じように食品工業技術センターで酒造りをするのであれば、お酒やその造り方に興味があること、そして体力も欠かせないですね」

ありがとうございました。



現在の仕事内容を教えてください。

「醸造食品を担当するチームで、主に酒類、特に清酒をメインに研究しています。春から夏は、企業が製品開発をする際の技術相談・指導、依頼試験などの業務を担当。企業から新製品の品質評価の依頼を受け、成分の分析をすることもあります。秋から冬は、実験室で出た研究結果をさらに大きな規模で実証するため、実際にお米から仕込んで酒造りをします。一般の酒蔵と同じ工程で造っていくため、体力仕事が多いです。また、毎日醪(もろみ)をすくって分析するほか、味や香りなどを判断する利き酒の能力も必要です」

——やりがい

「お酒が出来上がったときはやっぱりうれしいです。全く同じ環境で作っても毎年品質の違うお酒が出来上がるので、酒造りの奥深さを痛感しています。また、酒造りを経験しているからこそ、技術相談に来られる杜氏さんの苦勞や悩みがよくわかり、より一層真摯に向き合えることもやりがいにつながっています」



22歳

名古屋工業大学4年のとき、物理化学の研究室に入り、研究に熱中する。

24歳

公務員採用試験に合格。あいち産業科学技術総合センターに配属される。

35歳

念願の異動。酒造りと研究を極め、清酒のスペシャリストをめざす。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



建物の着工から完成まで、
すべてを統括する存在を目指して。

ゼロから何でも始めれる！
学生は無敵！

加藤 禎磨 さん(1999年生まれ)

中部大学第一高校 出身

中部大学 工学部卒業

サカイ創建株式会社

小牧市三ツ淵 字西之坪 1138

<https://www.sakai.co.jp>

なるためには

- 必要資格 / 建築施工管理技士、建築士(任意、入社後に取得)
- 主な進路 / 高校卒業→建築系の4年制大学を卒業→建設会社に就職

——学生時代

「自動車関係の仕事をしていた父の影響で、幼いころからものづくりに興味がありました。学校での得意科目は図工や美術。父の手伝いで、DIYで棚などを作っていた思い出があります。当時は「いつか家を作る人になりたい」と言っていて、将来の夢は大工さん。リフォームで住宅が生まれ変わる番組を夢中で見ていました。また水泳や野球、陸上など、スポーツも得意でした」

大学時代に学んだことは？

「中部大学工学部の建築学科へ進学。建築図面を描くために、まずは製図板や平行定規を使った線の描き方から学習し、CADソフトを使った図面作成の課題にも挑戦しました。3年次からは建築計画の研究室へ。卒業設計として友人5人で実際の敷地を想定した複合施設の建築計画を立て、私はリゾートホテルの担当に。図面から模型まで仕上げる大規模な作品になりました。大学で学んだ建築デザインの基礎は、現在の仕事で直接生かしています」

——仕事について

「建築業界への就職について調べていて、建設現場で建物の着工から完成まですべてを担う施工管理職の仕事を知りました。現在の会社はインターンシップで出会い、地元で賃貸住宅や民間施設など幅広い建設物に関わることに惹かれて入社を決めました」

仕事内容を教えてください。

「施工管理の仕事は、一般的には現場監督という名でも知られています。建物の建設現場で図面をもとに作業や指示を行い、工事が円滑に進むように管理するのが仕事です。職人さんへの指示から資材の発注、スケジュール管理、安全管理、図面の調整などのすべてをまとめる役割です。私は入社1年目のため、先輩の指示のもと現場の手伝いをしながら、道具の名称や建築用語、仕事の流れを覚えていきます」

建築の仕事のおもしろいことは？

「建設現場での作業は思った以上に早く進みます。毎日、朝とは違った風貌となり、着々と完成に近づいていく様子が見られるのはおもしろいです」

——やりがい

「現在はクリニックの増築工事に関わっていますが、完成後、便利に利用していただける患者さんやスタッフの方の姿を想像するとうれしくなります。いずれは住宅や老人福祉施設の建設にも携われたらと思います」



——なるためには

「施工管理の仕事に就くには、大学で建築関係の勉強をしましょう。外での作業や力仕事も多いため、勉強だけでなく体力づくりもしておきたいですね。物事を細かく計画立てて進めるのが好きな人に向いていると思います。建築関係の仕事に興味があるなら、旅先で多くの建築事例を見ておくことや将来生きてきますよ。学生時代は、何でもゼロから始められる可能性にあふれています。少しだけ将来を意識して好きなことや興味を深め、目標を見つけてみてください！」

ありがとうございました。



12歳

↓

18歳

↓

22歳

ものづくりに興味があり、卒業アルバムで将来の夢を大工さんと書く。

建築関係の仕事を目指し、大学で本格的に建築デザインを学ぶ。

現在の会社に入社。建設現場で施工管理の見習いとして仕事を覚える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

